



JBC news

since 1970

【毎月1回10日発行・1部20円】

JBCニュース
第587号 2021年3月10日
昭和50年5月19日第三種郵便物認可

発行所
公益財団法人 全日本ボウリング協会
東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
Japan Sport Olympic Square 511号室
03 (6804) 5605
<http://www.jbc-bowling.or.jp/>



第38回 全日本実業団都市対抗選手権大会 (JFE西日本)

突破の 力

リベンジがかかった大会をホームタウンで迎えたJFE西日本。大会延期を経て、連覇のチャンスをものにしたタイトー仙台。今回限りの特別な大会で、最高の結果を残しました。決勝戦のスコアには、勝ちたい気持ちの強さが如実に。ここぞを突破した両チームに、実業団特有の絆が見えました。



第46回 全日本実業団産業別選手権大会 (タイトー仙台)

- 2面 第49回全日本クラブ対抗選手権大会
- 3面 第38回全日本実業団都市対抗選手権大会
- 4~5面 第46回全日本実業団産業別選手権大会
- 6面 第36回全日本年齢別選手権大会
- 7~8面 第52回全日本大学個人選手権大会



KING OF BOWLING

文部科学大臣杯 第58回 全日本ボウリング選手権大会 〈スポーツ振興基金助成事業〉

2021年3月18日(木)~21日(日)

- 主催** 公益財団法人 全日本ボウリング協会
- 後援** スポーツ庁
公益財団法人 日本スポーツ協会
公益財団法人 日本オリンピック委員会
愛知県
公益財団法人 愛知県スポーツ協会
稲沢市
稲沢市教育委員会
稲沢市スポーツ協会
- 協力** 日本ボウリング機構 (JBO)
- 主管** 愛知県ボウリング連盟

世界最大のボウリング場
116レーン(長さ198.39m/650.88ft)
ギネス世界記録認定を受けた「世界最大のボウリング場」で、リニューアルされた「フロレーン」をご堪能ください。

稲沢グランドボウル 〒492-8164 愛知県稲沢市井之口大坪町 80-1
TEL 0587-21-2131 FAX 0587-21-2133
www.grandbowl.jp/inazawa



強さ継続中!東名クラブ

第49回全日本クラブ対抗選手権大会

第49回全日本クラブ対抗選手権大会が1月23日(土)・24日(日)に東京・東大和グランドボウル(公競No.113-112)で開催された。東名クラブ(愛知)が2年ぶりに優勝。決勝戦は、2018・2019年大会を連覇した実力を惜しみなく発揮しての圧勝劇だった。



2018



2019



優勝の東名クラブ(愛知県) 写真左上は2018年優勝時、同左下は2019年優勝時



第3位の笹塚ボウルクラブ(東京都)



準優勝のオーククラブA(東京都)



第5位の高尾スターレーンクラブ(東京都)



第4位の立川スターレーンクラブ(東京都)

競技
予選は2つのグループに分かれて行われた。A組はレギュラー方式を先に実施。1回戦を終えた時点で高尾スターレーンクラブ(東京)の2962がトップ。笹塚ボウルクラブ(東京)は23ピン差で3位につけると、2回戦では3206(チームハイシリーズ)をマークして逆転、2位に97ピン差をつけた。そして3回戦のペーカー方式でも1ゲーム目から258(ペー

カーハイゲーム)と好調。そのままトップ通過を決めた。A組が3回戦を行う際、B組もペーカー方式から競技スタート。TCBクラブ(東京)が2位の青梅クラブ(東京)に87ピン差をつけて首位を奪ったが、レギュラー方式の2回戦では東名クラブ(愛知)がTCBクラブを272ピン上回って逆転した。3回戦ではTCBクラブが追いついて28ピン差まで追ったが、東名クラブが辛くもトップ通過を決めた。

A・B組の上位各6チームが決勝戦に進出。予選のスコアをもとに対戦順を決定し、総当たり戦11ゲームを行った。序盤の3ゲームで3連勝は東名クラブと立川スターレーンクラブ(東京)の2チームのみ。東名クラブは3ゲームとも200UPで頭ひとつ抜けた。東名クラブの連勝は7ゲーム目でストップし、9ゲーム目には笹塚ボウルクラブが55ピン差まで迫るピンチを迎えた。しかし10ゲーム目の235で再び突き放して優勝。2年ぶりにクラブ日本一の座に就いた。

第49回全日本クラブ対抗ボウリング選手権大会成績表

2021年1月23日(土)~24日(日)

参加: 16チーム 85名

会場: 東京・東大和グランドボウル

決勝ラウンドロビン(ペーカー方式) 11G

優勝	東名クラブ(愛知県)	山田裕太郎 岡田有翔	村田小泉 大輔	犬飼健志	2,272
準優勝	オーククラブA(東京都)	井上龍太 鈴木彰	吉永古畑 哲和	松野琴美	2,216
第3位	笹塚ボウルクラブ(東京都)	関口幸大 大城	今津野仲 友美	井口遼太	2,199
第4位	立川スターレーンクラブ(東京都)	吉田慎 中島梨沙	本橋新穂 竜隼	照山莉央 角島大貴	2,169
第5位	高尾スターレーンクラブ(東京都)	中山智子 横山幸正	荒熊真一 熊沢	熊沢絆	2,158
第6位	TCBクラブ(東京都)	佐藤一雄 吉田有華	高垣真一 友田健人	山城雄	2,153
レギュラー方式 チームハイゲーム	笹塚ボウルクラブ(東京都)	関口幸大 大城	今津野仲 友美	井口遼太	1,130
レギュラー方式 チームハイシリーズ	笹塚ボウルクラブ(東京都)	関口幸大 大城	今津野仲 友美	井口遼太	3,206
ペーカー方式 チームハイゲーム	笹塚ボウルクラブ(東京都)	関口幸大 大城	今津野仲 友美	井口遼太	258
個人ハイゲーム	岩本雄治(神奈川県)	神奈中平塚ボウルクラブ			279
個人ハイシリーズ	小幡章夫(愛知県)	尾張東クラブ			712



個人HGの岩本雄治(神奈川県)



第6位のTCBクラブ(東京都)



個人HSの小幡章夫(愛知県)



チームHG/HSの笹塚ボウルクラブ(東京都)

全日本クラブ対抗選手権は5人チーム戦。予選はペーカー方式(8ゲーム)とレギュラー方式(5人×3ゲーム×2回戦)を行う。今大会は参加チーム数に応じて決勝進出数を12チーム(A・B各組6



チーム)と設定した。決勝はペーカー方式のラウンドロビン(総当たり戦)で、11対戦のトータルスコアと各ゲームの勝利チームに付与されるボーナスポイント20点の合計で順位を決定した。

雪辱のV、地元錦

第38回全日本実業団都市対抗選手権大会

第38回全日本実業団都市対抗選手権大会が1月30日(土)・31日(日)に広島・キャッスルポウル福山(公競No.134・019)で開催された。前回大会では大接戦の末準優勝のJFE西日本(広島・福山市)が今大会は圧勝。地元福山開催でのメモリアルな優勝を遂げた。

競技

予選1回戦はタイトー仙台(宮城・仙台市)、日本精工藤沢(神奈川・藤沢市)、呉市役所(広島・呉市)と、実業団3大会の現タイトルホルダーである3チームが上位に居んだ。日本精工藤沢に91ピン差をつけたタイトー仙台は、2回戦でもリードを倍に広げた。

予選1回戦はタイトー仙台(宮城・仙台市)、日本精工藤沢(神奈川・藤沢市)、呉市役所(広島・呉市)と、実業団3大会の現タイトルホルダーである3チームが上位に居んだ。日本精工藤沢に91ピン差をつけたタイトー仙台は、2回戦でもリードを倍に広げた。

ここで頭角を現したのは3位で通過したJFE西日本A(広島・福山市)。スタートから堅実なゲーム運びを見せると、6・7ゲーム目には250台も連発して、スコアを伸ばしきれない他チームを置き去りにした。

8ゲーム目ついに連勝が途切れたJFE西日本Aだったが、9ゲーム目には日本精工藤沢を直接対決で下して、約1ゲーム分のリードを作った。最後は241のビッグゲームで締めくくったJFE西日本A。ホームタウンで開催された都市対抗選手権で7年ぶりの優勝を飾った。



JFE西日本(福山市)



準優勝の日本精工藤沢(神奈川・藤沢市)



第3位のタイトー仙台(宮城・仙台市)



個人HG/HSの畑秀明(日本精工藤沢)



第4位の日産自動車九州(福岡・京都郡)



第5位の呉市役所A(広島・呉市)



第6位のJFE西日本B(広島・福山市)



チームHG/HSの日本精工藤沢



ベーカー方式のJFE西日本A

第38回全日本実業団都市対抗ボウリング選手権大会 成績表

参加：14都市 16チーム 67名 2021年1月30日(土)～31日(日) 会場：キャッスルポウル福山

《4人チーム戦(決勝ベーカー方式)》

優勝	JFE西日本A (広島・福山市)	石本美来・石川慎二・福田嘉光 鉦崎浩二・尾崎亮平	2,426(180)
準優勝	日本精工藤沢 (神奈川・藤沢市)	畑秀明・小西莨平・斎藤祐太 村上悦男・小林猛	2,132(120)
第3位	タイトー仙台 (宮城・仙台市)	遠藤明日香・根本遥 大久実結・渡邊雅司	2,097(120)
第4位	日産自動車九州 (福岡・京都郡)	渡邊翔・和田一郎 奥田広儀・柿原博	2,096(120)
第5位	呉市役所A (広島・呉市)	今村清司・谷口葉子 岡田俊徳・大岡明百	1,998(100)
第6位	JFE西日本B (広島・福山市)	松藤信明・東孝行・石井浩次 矢野徹・田中玲美	1,990(120)
ベーカー方式 チームハイゲーム	日本精工藤沢 (神奈川・藤沢市)	畑秀明・小西莨平・斎藤祐太 村上悦男・小林猛	916
ベーカー方式 チームハイゲーム	JFE西日本A (広島・福山市)	石本美来・石川慎二・福田嘉光 鉦崎浩二・尾崎亮平	256
チームハイシリーズ	日本精工藤沢 (神奈川・藤沢市)	畑秀明・小西莨平・斎藤祐太 村上悦男・小林猛	2,554
個人ハイゲーム	畑秀明	日本精工藤沢(神奈川・藤沢市)	258
個人ハイシリーズ	畑秀明	日本精工藤沢(神奈川・藤沢市)	664



第5位の呉市役所A(広島・呉市)



第6位のJFE西日本B(広島・福山市)

ガイド

実業団都市対抗選手権は4人チーム戦で優勝を争う。予選は4人×3ゲームを3回戦行い、合計スコアの上位12チームが決勝戦に進出する。決勝戦は予選のスコアを持ち越さず、ベーカー方式で競技する。決勝進出した全チームが1ゲームずつ対戦し、ゲームスコアと勝利ボーナスポイント(20点)を得点として合計スコアを競う。

経済産業大臣杯 第46回全日本実業団産業別選手権大会

経済産業大臣杯第46回全日本実業団産業別選手権大会が2月27日(土)～28日(日)に京都・キョーイチボウル宇治(公競No.126・003)、ラビュタボウル宇治東(公競No.126・003)で開催された。



開式であいさつする佐藤協常務理事

A・C部門

予選回戦は全体7大苦戦の中、セイテック(岡山)がアンカー長崎達志の721(個人ハイシリーズ)を活かして824でラウンドに乗せた。メンバ交代して回戦に臨んだセイテックはシリーズを全体トップスコアをマークした。

B・D部門

徒が個人ハイゲームのスコアを含む702(前記)シリーズ84として、セイテックに25ビシ差まで詰め寄った。決勝戦、1ゲーム目は500に留まったセイテックを、ナソニックAP社が895で逆転した。

ビッグスコアでV2 決勝大会



タイトー仙台(宮城)

優勝のタイトー仙台(宮城) 左から速藤明日香、根本遥、渡邊雅司、大久実結

優勝のタイトー仙台(宮城) 左から速藤明日香、根本遥、渡邊雅司、大久実結。決勝大会は、前回覇者のタイトー仙台(宮城)が堂々のスコアメイクで連覇を果たした。

最後に決勝大会で全体の優勝チームを決める。別荘業種別4部門が設定されているが、参加チーム数が減ったことから急遽2部門で実施することになった。



先行逃げ切り セイテック(岡山)

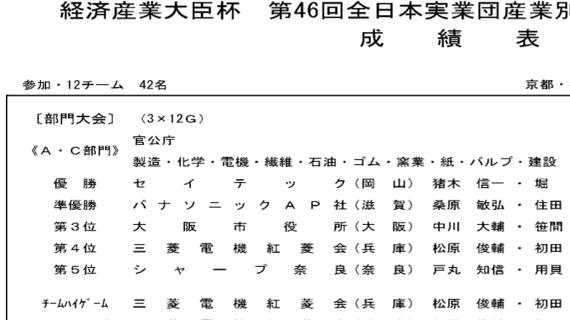
A・C部門



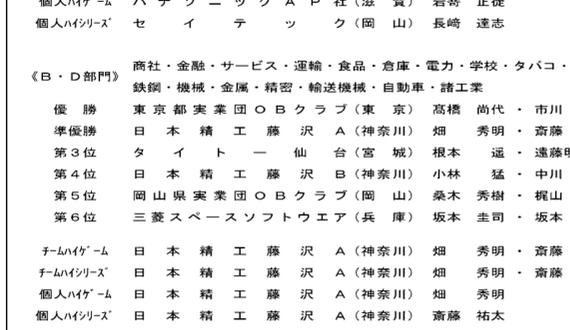
準優勝のパナソニックAP社(滋賀)



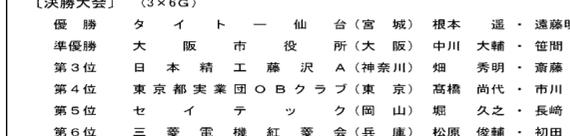
第3位の大阪市役所(大阪)



第4位の日本精工藤沢A(神奈川)



第5位のタイトー仙台(宮城)



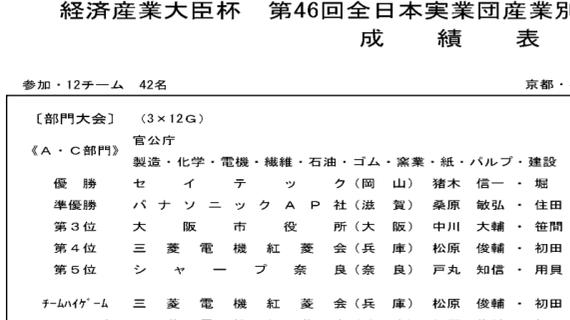
第6位のセイテック(岡山)



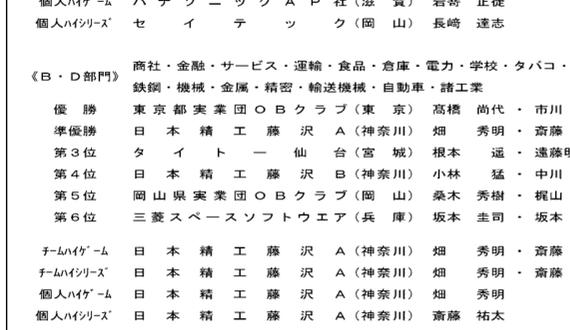
第3位の大阪市役所(大阪)



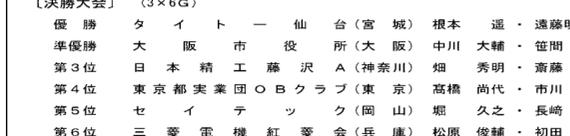
第4位の日本精工藤沢B(神奈川)



第5位のタイトー仙台(宮城)



第6位のセイテック(岡山)



第7位のセイテック(岡山)

経済産業大臣杯 第46回全日本実業団産業別ボウリング選手権大会 成績表

2021年2月27日(土)～28日(日) 参加・12チーム 42名 京都・キョーイチボウル宇治、ラビュタボウル宇治東

Table with columns for Department (A・C), Rank, Team Name, and Score. Includes winners Seyteck (7,071) and runner-up Panasonic AP (7,054).

Table with columns for Department (B・D), Rank, Team Name, and Score. Includes winners Tai-to-Sendai (7,380) and runner-up Nippon Kogyo Fuji A (7,385).

Table with columns for Department (Final), Rank, Team Name, and Score. Includes winners Tai-to-Sendai (3,966) and runner-up Daikoku City Office (3,885).



準優勝のタイトー仙台(宮城)



第3位のタイトー仙台(宮城)



第4位のタイトー仙台(宮城)



第5位のタイトー仙台(宮城)



第6位のタイトー仙台(宮城)

最後に決勝大会で全体の優勝チームを決める。別荘業種別4部門が設定されているが、参加チーム数が減ったことから急遽2部門で実施することになった。

最後に決勝大会で全体の優勝チームを決める。別荘業種別4部門が設定されているが、参加チーム数が減ったことから急遽2部門で実施することになった。



第3位のタイトー仙台(宮城)



第4位のタイトー仙台(宮城)



第3位のタイトー仙台(宮城)



第4位のタイトー仙台(宮城)



第5位のタイトー仙台(宮城)



第6位のタイトー仙台(宮城)



第3位のタイトー仙台(宮城)



第4位のタイトー仙台(宮城)



第5位のタイトー仙台(宮城)



第6位のタイトー仙台(宮城)



第3位のタイトー仙台(宮城)



第4位のタイトー仙台(宮城)



第5位のタイトー仙台(宮城)



第6位のタイトー仙台(宮城)



第3位のタイトー仙台(宮城)



第4位のタイトー仙台(宮城)



第5位のタイトー仙台(宮城)



第6位のタイトー仙台(宮城)

JBC Official Video Channel advertisement featuring a laptop and smartphone displaying bowling videos, with text '動画で分かるJBC' and 'ライブ配信も実施中!'.

JBC Facebook page advertisement with text '全選手・全チームのスコアを掲載' and 'JBC試合速報ページ', including a QR code and social media links.

波乱の最終日、チャンピオン決定

JBC会長杯 第36回全日本年齢別選手権大会

JBC会長杯第36回全日本年齢別選手権大会が2月12日(金)から14日(日)にかけて、福島・ポウルアピア郡山(公競No.107-016)で開催されました。会期中に福島県沖を震源とする最大震度6強の地震が発生。会場施設・設備の状況を確認の上、競技実施は可能と判断し、全7部門を決勝戦まで行い、チャンピオンを決定しました。

【御礼】会場のポウルアピア郡山、主管運営の福島県ボウリング連盟をはじめとする開催地の皆様と、参加選手各位のご理解ご協力により、大会を完了することができました。深く感謝申し上げます。

被害に遭われた方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

20歳代の部

1回戦は寺島光希(埼玉)と八鍬良太(東京)が740台をマークして1・2位でスタート。古畑和輝(東京)は727とし3位につけると、2回戦ではパーフェクトを含む792。首位に立った上、2位の寺島には85ピン差をつけた。そして3回戦、古畑は2度目のパーフェクトで周囲を驚かせた。2位以下は混戦となり、齋藤祐太(神奈川)が浮上するも、古畑のリードは141ピンまで広がった。



優勝の古畑和輝選手

「2度300を出せたが、2回目はYouTubeの中継レーンで出せたことが特に嬉しかった。コロナ対策の上に地震まであって気が抜けない時間が続いたが、今後もボウリングを頑張ろうと思える大会になりました」

台を連発。決勝進出者中最高の722で締めくくり優勝を果たした。

国内トップクラスの選手たちを相手にしても、セーフティリードと思われた古畑だったが、決勝戦でも手加減なしで250

20歳代の部	
古畑和輝	東京都 21歳
使用ホール	IQ Tour Emerald(15p3oz)
公認ドリラー	西原 亮 (公認No. 0899-13)

19歳以下の部

渡辺莉央(群馬)が2ゲーム目の283を活かして、1回戦733でトップに立った。2位の吉原正明(埼玉)は7ピン差、我孫子美葵(宮城)と木村晃(神奈川)も720台に乗せて首位グループを形成した。

ピン差をつけられた。ところが3回戦では木村が780をマークして、112ピン差を一気に逆転して見せた。

木村と渡辺は7ピンの僅差で、1日置いて決勝戦を迎えた。1ゲーム目225の木村がリードを広げると、続く2ゲームとも渡辺を上回って勝ち切った。



優勝の木村晃選手

「いままで応援してくれた人達に結果で恩返しすることが出来てとても嬉しいです。これからも感謝の気持ちを忘れずに頑張りたいと思います！」

渡辺は2回戦で772とさらに打ち上げて、1500の大会に。吉原も723をマークしたが56

19歳以下の部	
木村 晃	神奈川県 18歳
使用ホール	Critical Code(15p2oz)
公認ドリラー	玉置幸一郎 (公認No. 1651-14)

50歳代の部



優勝の齋藤祐太選手「20年ぶりの優勝、嬉しく思っています。」

鈴木英子(福島)が688で1回戦トップに立ったが、19ピン差で2位につけた齋下浩一(岐阜)が2回戦で709と打ち上げて逆転した。齋下は3回戦も640にまとめて首位を守り、2位の井崎賢二(茨城)には64ピン差をつけた。

決勝戦では、9位で通過した齋藤有作(神奈川)が1ゲーム目に287をマークして順位を上げてきた。齋下はラスト2ゲームでスコアを落としてしまうが、予選のリードを活かして逃げ切り、2001年に30歳代の部で優勝以来、2度目の大会制覇を果たした。

50歳代の部	
齋下浩一	岐阜県 56歳
使用ホール	Nanodesu Accu-Rise(15p)
公認ドリラー	齋下浩一 (公認No. 1083-24)

40歳代の部



優勝の笹林朋幸選手「念願の全国大会での優勝が出来てすごくうれしいです。決勝の3ゲーム目の打ち合いに勝てたのも良い経験になりました。大会期間中に、大きな地震がありました。関係者のご尽力で最後まで競技を行う事が出来ました。ありがとうございます。」

笹林朋幸(富山)が1回戦698でトップ。2位の犬飼健志(愛知)は34ピン差で続いた。4位につけていた林伸治(愛知)は2回戦で694と打ち上げて首位を奪い、犬飼は6ピン差で2位に留まった。

犬飼は3回戦も645と安定したスコアメイク。ついにトップに立ったが、笹林が688と盛り返して1ピン差につけた。3位以下も逆転可能な点差で決勝戦に突入した。

1ゲーム目、犬飼が219でリードを19ピンに広げたが、2ゲーム目は笹林

が224で逆転。20ピン差で迎えた最終ゲームは、双

40歳代の部	
笹林朋幸	富山県 45歳
使用ホール	Code Dynamic(15p3oz)
公認ドリラー	曾根多加雄 (公認No. 0762-18)

30歳代の部



優勝の鶴見亮剛選手「コロナ禍や、大会期間中には地震もありましたが、大会を運営してくださった福島の皆様感謝しております。」

山崎吉範(富山)が1回戦でただひとり700超え。2位の鶴見亮剛(神奈川)は683で45ピン差をつけられたが、2回戦では717とスコアを伸ばして首位を奪った。714を打ち2位に浮上した大塚正(福島)に、鶴見は78ピン差をつけた。

しかし鶴見は3回戦で618。大塚は706をマークして1位で決勝進出を決めた。大塚と鶴見はトータルを2000台に乗せて、3位の山崎にはすでに100ピン以上の差をつけた。

決勝戦、大塚を10ピン追う鶴見は1ゲーム

目に233で逆転。すると大塚は2ゲーム目に245で2ピン差に迫った。勝負の最終ゲームは、鶴見が241で振り切り、昨年準優勝の雪辱を果たした。

30歳代の部	
鶴見亮剛	神奈川県 39歳
使用ホール	Idol Pro(15p2oz)
公認ドリラー	芦川和義 (公認No. 1779-14)

70歳以上の部



優勝の宮戸康次選手「本人もビックリ」

松井正信(大阪)は1ゲーム目256からの672で首位発進。昨年優勝の野澤俊之(千葉)は42ピン差の2位で続いた。2回戦は全体に苦戦でビッグスコア

が出ない中、松井はトータルでプラスを堅守。2位に浮上した宮戸康次(神奈川)との差は71ピンまで開いた。

3回戦、4位につけていた吉村悟(東京)が653をマークし、松井はついに逆転を許す。吉村と松井は24ピンの僅差だが、3位以下とは100ピン近い差がついた。

ところが決勝戦は、吉村も松井も200に届かない苦しい展開に。そこへ、5位まで順位を落としていた宮戸が追い上げた。1ゲーム目に243とし、依然81ピン差を残した最終ゲームで会心の279。吉村を7ピン上回り大逆転勝利となった。

70歳以上の部	
宮戸康次	神奈川県 73歳
使用ホール	Physix M(14p)
公認ドリラー	佐々木智之 (公認No. 1549-14)

60歳代の部



優勝の山中徹治選手「大接戦でした。全日本シニアに続き、全日本年齢別も優勝できて嬉しく思います。これからも頑張ります。」

1回戦は吉田由美子(埼玉)が唯一人700台に乗せ、2位の押切功(神奈川)は62ピン差をつけられた。吉田は2回戦も637とし、スコアを伸ばしきれなかった下位との差は100ピン以上に開いた。

しかし3回戦では、3位につけていた山中徹治(東京)が685をマークして、吉田との差を55ピンまで縮めることに成功し望みをつないだ。

決勝戦、1ゲーム目は吉田も山中も205。2ゲーム目で吉田が188に留まった一方、山中が246で逆転に成功した。13ピンリードした山中の最終ゲームは195。吉田は最後の1投で再逆転のチャンスもあったが、208でトータル同点という結果になった。

1・2位が同点の場合には9・10フレームによる同点決勝を行う。9フレーム目は山中も吉田もストライクを決めて、10フレーム目も9本スピアと差がつかず、3投目の9本対7本でついに決着。山中が全日本シニア選手権との連続Vを果たした。

60歳代の部	
山中徹治	東京都 62歳
使用ホール	Crystal Physix(15p4oz)
公認ドリラー	山本 勲 (公認No. 1548-14)

パーフェクト 300

山本、古畑が達成

パーフェクト	
山本智哉	広島県 19歳
使用ホール	Solar Parallax(15p4oz)
公認ドリラー	竹内教泰 (公認No. S0338-34)

JBC会長杯 第36回全日本年齢別ボウリング選手権大会 成績表

参加：273名 2021年2月12日(金)～14日(日) 会場：福島・ポウルアピア郡山

《19歳以下の部》 12G		《20歳代の部》 12G	
優勝	木村 晃 (神奈川) 2,810	優勝	古畑和輝 (東京) 2,974
準優勝	渡辺莉央 (群馬) 2,754	準優勝	宮澤拓哉 (群馬) 2,778
第3位	吉原正明 (埼玉) 2,731	第3位	齋藤祐太 (神奈川) 2,751
第4位	佐藤 潤 (千葉) 2,712	第4位	寺島光希 (埼玉) 2,662
第5位	熊田 菜奈海 (埼玉) 2,672	第5位	八鍬良太 (東京) 2,636
第6位	岩元 美咲希 (愛知) 2,655	第6位	白井康介 (愛知) 2,633
《30歳代の部》 12G		《40歳代の部》 12G	
優勝	鶴見亮剛 (神奈川) 2,714	優勝	笹林朋幸 (富山) 2,675
準優勝	大塚 正 (福島) 2,659	準優勝	犬飼健志 (愛知) 2,644
第3位	小倉康輔 (千葉) 2,644	第3位	井岡聖一 (三重) 2,640
第4位	山崎吉範 (富山) 2,500	第4位	伊藤 文 (福島) 2,573
第5位	林 香織 (福島) 2,472	第5位	岩崎 忠史 (群馬) 2,569
第6位	山本大輔 (埼玉) 2,447	第6位	吉野 弘子 (千葉) 2,517
《50歳代の部》 12G		《60歳代の部》 12G	
優勝	齋下浩一 (岐阜) 2,580	優勝	山中徹治 (東京) 2,557 (39)
準優勝	齋藤有作 (神奈川) 2,537	準優勝	吉田由美子 (埼玉) 2,557 (37)
第3位	井崎賢二 (茨城) 2,536	第3位	前田長一 (千葉) 2,517
第4位	武田孝史 (富山) 2,507	第4位	坂本則行 (埼玉) 2,449
第5位	増山 満枝 (栃木) 2,505	第5位	押切 功 (神奈川) 2,429
第6位	吉田 豊 (愛知) 2,487	第6位	林田尚恵 (島根) 2,420
《70歳以上の部》 12G		《ハイゲーム》	
優勝	宮戸康次 (神奈川) 2,371	19歳以下	山本智哉 (広島) 300
準優勝	吉村 悟 (東京) 2,364	20歳代	古畑和輝 (東京) 300
第3位	松井正信 (大阪) 2,348	30歳代	鶴見亮剛 (神奈川) 268
第4位	熊谷 芳行 (宮城) 2,296	40歳代	笹林朋幸 (富山) 276
第5位	大池 伴好 (東京) 2,277	50歳代	齋下浩一 (岐阜) 279
第6位	板垣 幸吉 (静岡) 2,273	50歳代	井崎賢二 (茨城) 279
		60歳代	前田長一 (千葉) 279
		70歳以上	松井正信 (大阪) 256

※60歳代の部第1位・第2位は同スコアのため9-10フレームを行い順位を決定。



全日本年齢別選手権大会は、10歳ごとの年代に分かれて男女混合で個人の優勝を争う。予選9ゲーム、決勝3ゲームのトータルスコアで順位を決定。女子には1ゲーム15ピン、70歳以上の部では75歳超の選手に5ピンのハンディキャップが加算される。

60歳代の部では、ともに1月に全日本シニア選手権を制したばかりの山中徹治選手(東京)と吉田由美子選手(埼玉)が同点でトップに並び、大会競技規程に則り「9・10フレーム」による優勝決定戦が行われた。1ゲームのうち第1・8フレームを割愛して、第9・10フレームの最大1投を行う方式で、今回は最終5投目までもつれ込む熱戦となった。

※60歳代の部第1位・第2位は同スコアのため9-10フレームを行い順位を決定。

第52回全日本大学個人選手権大会



男子優勝の小林本気 (大阪国際大学)



男子準優勝の羽ヶ崎匠海 (東京工科大学)



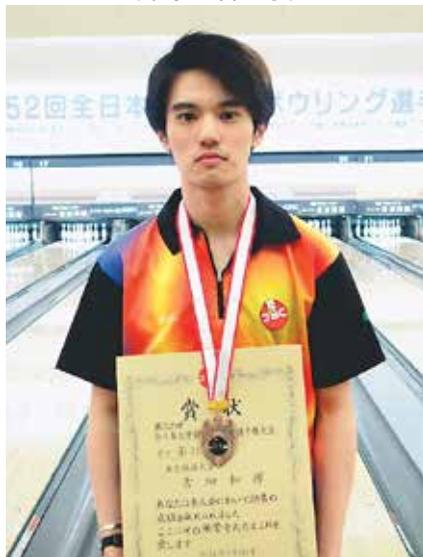
女子優勝の安田明香里 (京都産業大学)



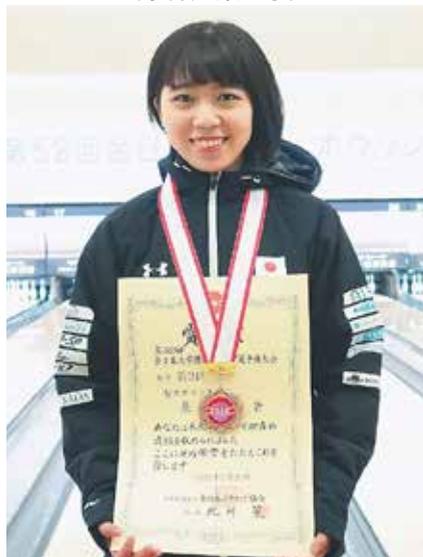
女子準優勝の鈴木波流 (常葉大学)



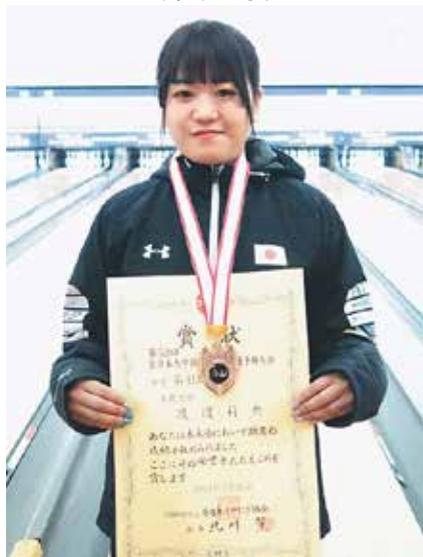
男子第3位の立花和貴 (京都産業大学)



男子第4位の古畑和輝 (東京経済大学)



女子第3位の泉宗心音 (聖カタリナ大学)



女子第4位の渡辺莉央 (上武大学)



男子第5位の佐藤宇宙 (東海学園大学)



男子第6位の川崎未来 (岡山商科大学)



女子第5位の戸塚真由 (同志社大学)



女子第6位の荒川沙里 (上智大学)

第52回全日本大学個人ボウリング選手権大会 成績表

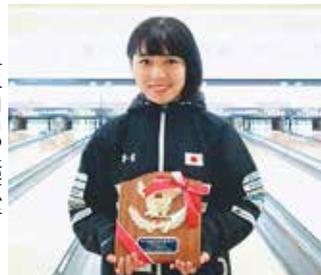
男子 94名 女子 24名 合計 118名 2021年2月18日(木)~20日(土) 京都・キョーイチボウル宇治

《男子の部 (21G)》			初優勝
優勝	小林本気	(大阪・大阪国際大学)	4,733
準優勝	羽ヶ崎匠海	(学生連合・東京工科大学)	4,669
第3位	立花和貴	(学生連合・京都産業大学)	4,557
第4位	古畑和輝	(東京・東京経済大学)	4,538
第5位	佐藤宇宙	(愛知・東海学園大学)	4,535
第6位	川崎未来	(学生連合・岡山商科大学)	4,498
ハイゲーム	井上龍太郎	(東京・日本体育大学)	300
ハイリース	小林本気	(大阪・大阪国際大学)	782

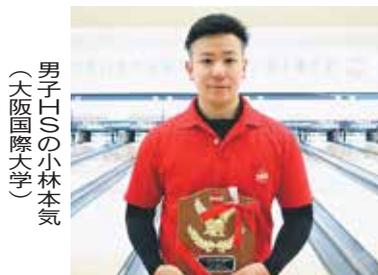
《女子の部 (21G)》			初優勝
優勝	安田明香里	(学生連合・京都産業大学)	4,434
準優勝	鈴木波流	(静岡・常葉大学)	4,417
第3位	泉宗心音	(愛媛・聖カタリナ大学)	4,347
第4位	渡辺莉央	(群馬・上武大学)	4,326
第5位	戸塚真由	(学生連合・同志社大学)	4,318
第6位	荒川沙里	(学生連合・上智大学)	4,310
ハイゲーム	泉宗心音	(愛媛・聖カタリナ大学)	278
ハイリース	荒川沙里	(学生連合・上智大学)	772



男子HGの井上龍太郎 (日本体育大学)



女子HGの泉宗心音 (聖カタリナ大学)



男子HSの小林本気 (大阪国際大学)



女子HSの荒川沙里 (上智大学)

パーフェクト 300

井上龍太郎が達成

第52回全日本大学ボウリング選手権大会において、井上龍太郎(日本体育大学)が大会第35号となるパーフェクトゲームを達成、協会主催大会公認第492号パーフェクトゲームとして認定された。

井上龍太郎	パーフェクト	20歳
		日本体育大学
使用ボール	Code Black Nano Pearl(15p3oz)	
公認ドリラー	後藤潤光 (公認No. 1803-14)	

全日本大学個人選手権大会は大学生の個人チャンピオンを決定する大会。全日本学生連合は、都道府県連盟所属も含めた大学生選手が参加する。

予選(4回戦×3ゲーム)、準決勝(2回戦×3ゲーム)、決勝(3ゲーム)を行い、21ゲームの合計スコアで順位を決定する。

新型コロナウイルス感染症に関する対応、予防策ガイドラインについて

協会 web サイト (http://www.jbc-bowling.or.jp/coronavirus/) でお知らせしています。

ご理解とご協力をお願い申し上げます。

公益財団法人 全日本ボウリング協会



壮絶な首位争い

優勝は… 安田明香里

小林本気

第52回全日本大学個人選手権大会が2月18日(木)から20日(土)にかけて京都・キョーイチボウル宇治(公認No.126-063)で開催された。男子も女子も、21ゲームの間に首位を激しく奪い合う激戦を展開した。

男子は一昨年の大会で準優勝の小林本気(大阪国際大学)が2年越しのリベンジを果たし、女子は安田明香里(京都産業大学)がルーキーイヤーを優勝で飾った。

山田悠歌奈(名古屋学芸大学)は1回戦で7-21をマークしてトップ。安田明香里(京都産業大学)が6-8で続いた。2回戦も6-00台に乗せた山田と安田の順位は変わらず。連覇を狙う向谷優那(日本経済大学)は安田と15ピン差の3位につけた。

3回戦、山田は6-1と堅調も、安田は6-2、5位につけていた泉宗心音(聖カタリナ大学)は6-5と差を詰めてきた。そしてハイスコアが続出した4回戦で、安田は6-9と打ち上げてついにトップを奪った。

女子の部



閉会式であいさつする吉岡英隆協会副会長(全日本学生連合会長)

21-8としたのに対し、鈴木は2-27・2-26で逆転。3ピン差で迎えた勝負の最終ゲームで鈴木は1-9。安田は2-13で抜き返し、1年生での大会制覇を遂げた。

男子の部

1回戦、羽ヶ崎匠海(東京工科大学)が3-5の好スタートを決めた。小林本気(大阪国際大学)は7-0と2位につけると、2回戦も6-73にまとめて首位に立った。2位には松尾優輝(名古屋産業大学)が19ピン差で続いた。

すると3回戦では羽ヶ崎が7-17で再びトップに。前回王者の古畑和輝(東京経済大学)は7-27と2位に浮上すると、4回戦も6-98で羽ヶ崎を抜いた。小林はこのシリーズ7-08で、古畑と6ピン差の2位に。羽ヶ崎は3位に後退も、古畑と33ピン差に留まった。

決勝戦、安田が200・

準決勝前半、小林は早くもスパート。782のピツ

賛助会員・特別法人・個人会員紹介
 <2021年2月1日以降登録者>
 【特別個人会員】
 △愛知県 酒井孝司、山口勝也、濱元小夜子、小島真、中西貴久、星野高志、赤尾昇一
 <順不同・敬称略>

2020年度各連盟公認競技会・リーグ登録数

地区名	連盟	2021年2月26日 現在	
		競技会 公認件数	リーグ 公認件数
北海道地区	北海道	13	50
東北地区	森手城田	28	49
	青岩宮	25	67
	宮城郡	26	81
	山形	3	5
	秋田	20	48
関東地区	福島	20	20
	茨城	13	13
	栃木	12	23
	群馬	20	51
	埼玉	37	77
	千葉	22	36
	東京	19	55
	神奈川	22	19
	山梨	24	26
	新潟	17	45
北信越地区	長野	23	85
	山梨	14	32
	石川	4	2
東海地区	静岡	43	118
	愛知	53	81
	岐阜	33	43
	三重	12	43
関西地区	京都	29	67
	大阪	56	99
	兵庫	20	20
中国地区	岡山	23	42
	広島	15	5
	山口	11	16
四国地区	徳島	10	15
	香川	9	2
	愛媛	6	40
	高松	15	13
九州・沖縄地区	福岡	12	20
	佐賀	19	34
	熊本	9	22
全日本学生連合	徳島	12	3
	香川	1	5
	愛媛	43	36
	高松	6	1
	福岡	27	49
総計	佐賀	17	34
	熊本	11	63
	鹿児島	21	52
	沖縄	16	30
全日本学生連合	7	1	
総計	919	1,661	

第52回全日本大学個人選手権大会



小林本気	男子優勝	21歳
		大阪国際大学
使用ボール	Proton PhysiX(15p)	
公認ドライヤー	武本真明 (公認No. 1539-27)	
安田明香里	女子優勝	19歳
		京都産業大学
使用ボール	Proton PhysiX(15p3oz)	
公認ドライヤー	平山陽一 (公認No. 1174-26)	

- △3月12日(金)~14日(日) 全日本シヨナルチーム選手権(参加記録)会 群馬・ドリムスタジアム太田
- ▽3月18日(木)~21日(日) 文部科学大臣杯第58回全日本選手権大会 愛知・稲沢グランドボウル
- ▽3月18日(木) 2020年度第5回理事会 愛知・稲沢グランドボウル
- 【地区連合主催大会】
- ▽3月6日(土)~7日(日) 回東海地区選手権大会 静岡
- ▽3月6日(土)~7日(日) 藤枝グランドボウル
- ▽3月6日(土)~7日(日) 回中国四国地区シニア選手権大会 岡山・サンフラーボウル
- ▽3月27日(土)~28日(日) 回関西選手権大会 和歌山・紀の川ボウル
- ▽3月27日(土)~28日(日) 第52回九州チーム選手権大会 福岡・桃園シティボウル
- ▽3月28日(日) 第49回全九州小学生・高校選手権大会 福岡・ユーズボウル北九州

スポーツくじ

toto FOR ALL SPORTS OF JAPAN

BIG

スポーツは育てることができる。

スポーツくじ(toto・BIG)の収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。

WORLD MASTERS GAMES 2021 KANSAI JAPAN

さあ、いい歳して、いい顔しよう。

概ね30歳以上なら、誰でも参加できる世界最大級のスポーツ祭。

ワールドマスターズゲームズ2021 KANSAI / JAPAN

2022年に延期!

開催期間 5月13日(金)~29日(日)

詳しくは、大会ホームページへ wmg2021 検索